

第5回

学生生活実態調査

結果報告書

2024年度・令和6年度

桐生大学・桐生大学短期大学部

2025 年 3 月実施

目次

序章調査の概要

2024 年度学生生活実態調査の結果、ならびに 2025 年度調査に向けての総括

第Ⅰ章 基本的事項

1～3. 調査対象人数及び回収率

第Ⅱ章 学業・学習環境

4 . 1 週間の予習・復習(作品制作などを含む)の時間は合計でどのくらいですか(記入例：
1 時間)

5 . 講義室・実験室などの教育環境には満足していますか

6 . 桐生大学の図書館を利用しますか

7 . どのような目的で利用していますか(複数回答可)

第Ⅲ章 課外活動

8 . どのようなサークルに入っています(入っていました)か (複数加入している場合は主に活動しているもの)

9 . サークル活動には、満足していますか。

10. 今年度の大学祭はいかがでしたか。

11. 前の質問でそのように回答した理由を記述してください。

第Ⅳ章 ボランティア活動

12. ボランティア活動をしたことがありますか

13. どのようなボランティア活動に興味がありますか(複数回答可)

第Ⅴ章 アルバイト

14. アルバイトはしていますか。

15. どのようなアルバイトをしていますか(していましたか)

16. アルバイトは 1 週間の平均で何時間くらいしていますか

第Ⅵ章 学生生活

17. あなたは喫煙しますか

18. 現在、何か困っていることはありますか。

19. 具体的に、どのような内容ですか。(記入例：学業に関する不安・人間関係等)

20. 保健室があることを知っていますか

21. 保健室を利用したことはありますか

第Ⅶ章 進路(就職・進学)

22. 卒業後、どのような職業に就きたいですか(複数回答可)

23. 就職する地域はどこを希望していますか

24. キャリアガイダンスの内容に満足していますか

25. 就職・進学で相談にのってほしいことを選択してください。(複数回答可)

第Ⅷ章 通学

26. 通学にかかる片道の所要時間はどれくらいですか

第Ⅸ章 食生活

27. 朝食を摂っていますか

28. 朝食を摂らない理由は何ですか

29. エレガンテ(売店)を利用しますか。利用する方は、週にどのくらい利用しますか。

第Ⅹ章 その他

30. 桐生大学内の生活の中で、大学に対して改善してほしい点がありますか(特にない場合は特になしと記入してください)

巻末資料

1. 委員会の構成メンバー

桐生大学・桐生大学短期大学部教育組織概説図

医療保健学部(4年)	短期大学部(2年)	別科(1年)
看護学科	アート・デザイン学科	別科助産専攻
栄養学科	生活科学科	

序章調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、桐生大学・桐生大学短期大学部の学生の生活実態を把握し、今後の学生のための厚生施策の充実、教育・研究環境の改善及びサービスの向上等に役立たせるための資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査の実施

学生へのより良いサービス向上等に資するため学生委員会において、調査内容の企画立案、調査票を作成し、実施した。

3. 調査の対象

令和6年1月現在で本学に在籍している全学生を対象とした。
ただし、休学者、研究生、聴講生及び科目等履修生の学生は除いた。

4. 調査の時期

令和7年3月4日(金)～3月21日(金)

5. 調査の方法

学生ポータルにて開始を案内し、Microsoft Forms にて実施した。対象者が設問に解答していく方式とした。

2024 年度学生生活実態調査の結果、 ならびに 2025 年度調査に向けての総括

2025 年 2 月に学生生活実態調査を行い、その結果をまとめたので報告する。

調査結果から、おおむね現在の大学生活に満足していることがうかがえる。

しかし一方で、レストランの座席が少ない、学生駐車場で高校サッカー部関係者が停めていたことがある、雨天時、敷地内の水たまりをどうにかしてほしい、学内行事を増やしてほしいなど、さまざまな要望がみられる。

また、大学生活でのサークル活動はひとつの楽しみであり、大学の活況を示すひとつの指標でもあるが、大学・短大では多くの学生がサークル団体に所属していない状況がうかがえる（問 8 への回答）。学生サークル活動がより活性化するようテコ入れをしていきたい。

通学時間についてみると、1 時間から 1 時間半をかける学生が半数を占めている（問 26 への回答）。授業の空きコマを減らすことを検討してほしいという要望もあった。笠懸キャンパスでは正門付近の整備が進み、今後、近いうち岩宿駅から公共のバスが正門ロータリーまでくることになっている。前橋方面から通学する学生が公共のバスを利用する際には、大学から何らかの援助ができればと思う。

昼食の時間には、11 号館 1 階のレストランで多くの学生が食事をし、混雑する状況にある。座席やテーブルの数を増やし、より多くの学生が利用できるように改善をすみやかに進めねばならない。劣化の進んでいる椅子の撤去も進めねばならない。問 29 への回答をみると、売店エレガントの利用が少ない状況にある。そのコメントにもあるように、利用促進に向けた対策が必要であろう。

2027 年 4 月から、太田市の駅前の新キャンパスに学部が移転することが決まっている。とくに医療保健学部の看護学科と栄養学科が移転するのであれば、在学生（医療保健学部 1, 2 年生）への情報提供をできるだけはやく進めなければならない。とくに学生の通学方法については、しっかり考えねばならない。学生が太田市駅前の新キャンパスに車で通学することは、かなり難しくなるであろう。また太田市内のアパートの紹介も必要となるであろう。何よりも学生がすみやかに、トラブル等なく新キャンパスでの学生生活を開始できるよう、早めの周知と移転への準備を進める必要がある。学生委員会として、今後ともアンケート調査等を実施し、学生が不安に思っていることや困っていること、悩んでいることなどを共有し、解決策をともに考え、速やかに改善できるようにしたい。

2025 年 3 月

2024 年度 学生委員会委員長 橋爪 博幸

第 I 章 基本的事項

1～3 調査対象人数・回収率

対象学生 755 人に対して、95 人からの回答を得た。回収率は、全体で 12.5%であった。

学科名	対象学生人数(人)	回収数(人)	回収率(%)
看護学科	356	31	8.7
栄養学科	235	45	19.1
別科助産専攻	19	2	10.5
生活科学科	32	3	9.3
アート・デザイン学科	114	14	12.2
全体	755	95	12.5

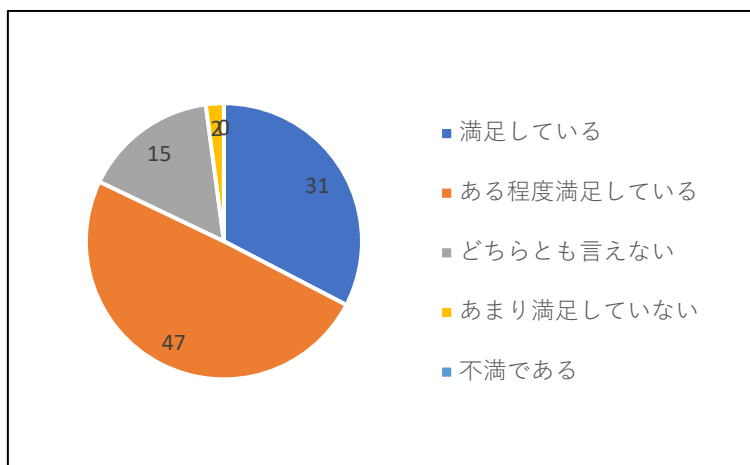
第Ⅱ章 学業・学習環境

4. 1 週間の予習・復習(作品制作などを含む)の時間は合計でどのくらいですか(記入例：1 時間)

1 時間未満から 20 時間と幅広く回答されており、日によって変わるという回答もあった。

5. 講義室・実験室などの教育環境には満足していますか

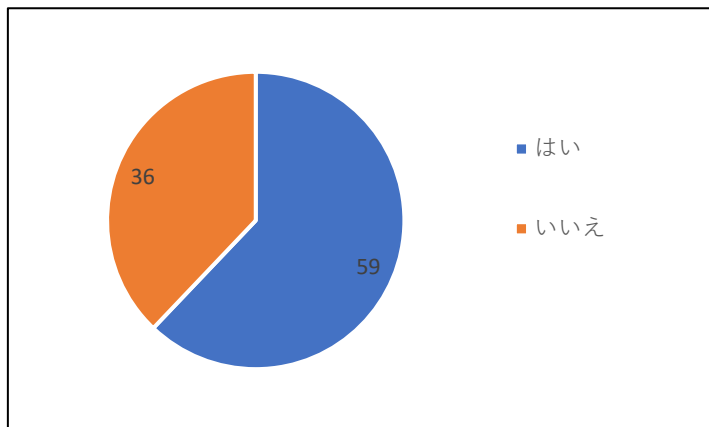
満足している、ある程度満足していると答えた学生が全体の約 7 割を占めていた。



6. 桐生大学の図書館を利用しますか

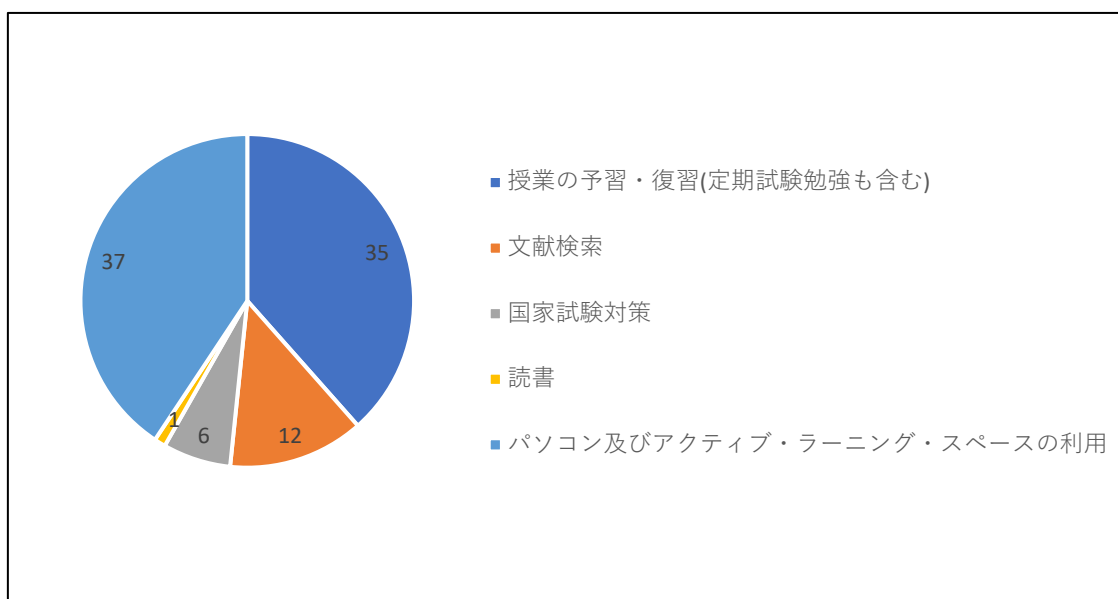
はい 59 人(62%)、いいえ 36 人(38%)

この結果より、59 人(62%)の学生は図書館を利用している。しかし、6 割とみると 10 人の中の利用者 6 人であり半数を超えているが多いわけではないことがわかる。学年進度に合わせた調査ではないので利用学年調査については課題となった。



7. どのような目的で利用していますか(複数回答可)

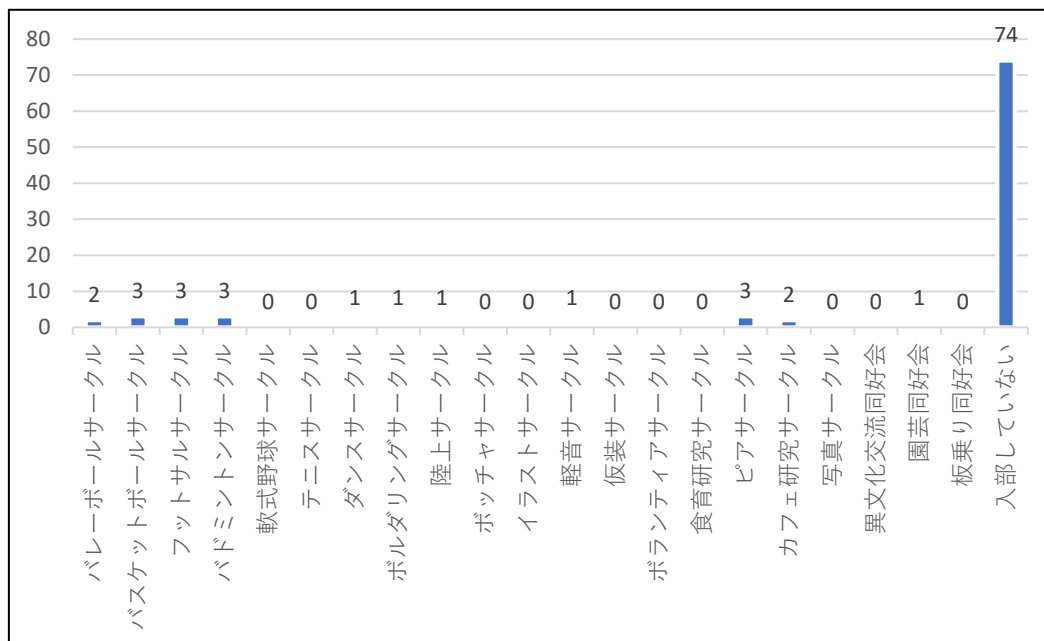
授業の予習・復習(定期試験も含む)35人(38%)、文献検索12人(13%)、国家試験対策6人(7%)、読書1人(1%)、パソコンおよびアクティブ・ラーニング・スペースの利用37人(41%)。看護学科の場合は3年生・4年生になると看護研究や看護セミナーがあり、研究論文形式で成果物を求める機会もあり、パソコンで仕上げることを求めるので、パソコン利用が多いことが伺える。どのような目的で利用したのかということでは、講義科目も興味のあるところである。予習復習として35人(38%)の学生が利用しているので、4割弱の学生は学習姿勢が身についていることは評価したい。



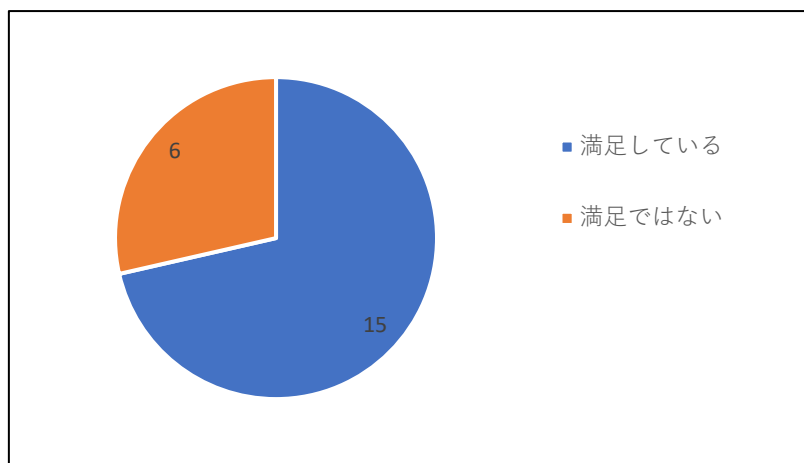
第Ⅲ章 課外活動

8. どのようなサークルに入っています(入っていました)か(複数加入している場合は主に活動しているもの)

サークルに入っていない学生が8割ほどいた。サークルに入っている2割の学生の中でバスケットボールサークル、フットボールサークルなど運動系のサークルに所属する学生が多かった。

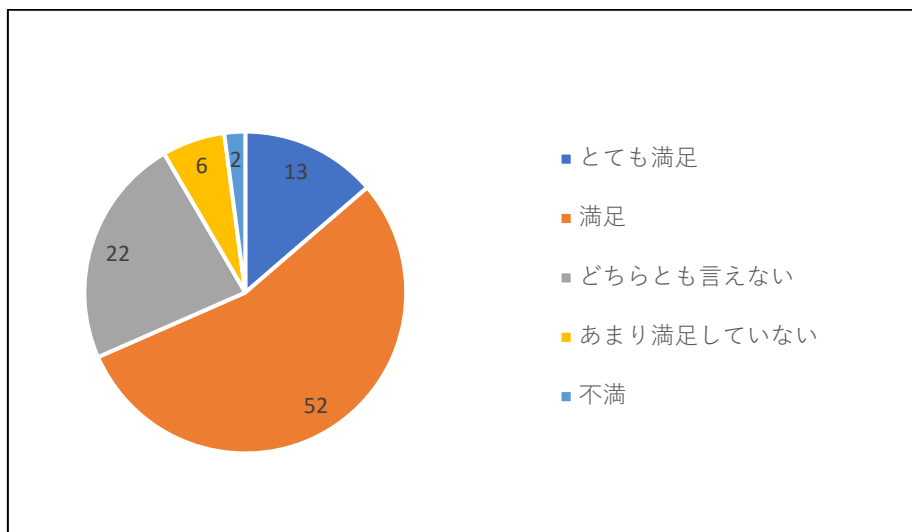


9. サークル活動には、満足していますか。



10. 今年度の大学祭はいかがでしたか。

とても満足・満足が全体の 69%を占めていることから、特に大きな問題はない。



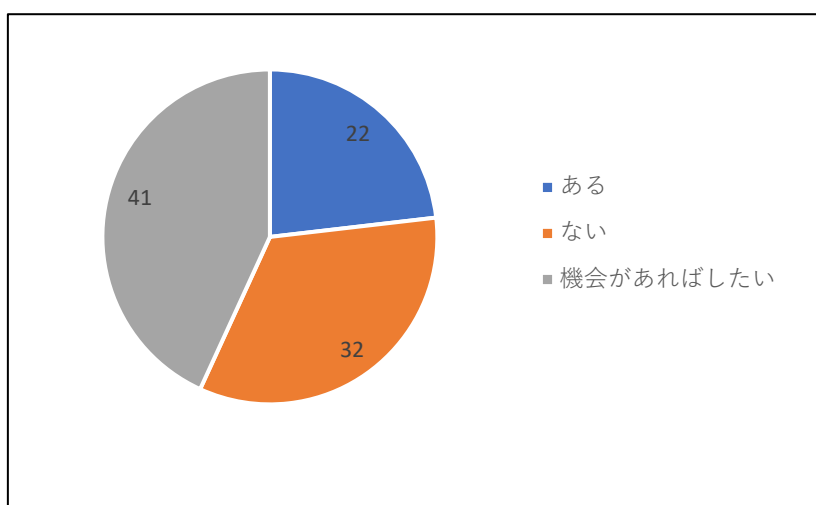
11. 前の質問でそのように回答した理由を記述してください。

満足と回答していても開催日数の不足などにマイナスコメントがみられたため、改善が必要と考えられる。どちらでもないと回答した学生はそのほとんどが参加しておらず、学生が参加したいと考えられる催しなどが必要だと考えられた。

第Ⅳ章 ボランティア活動

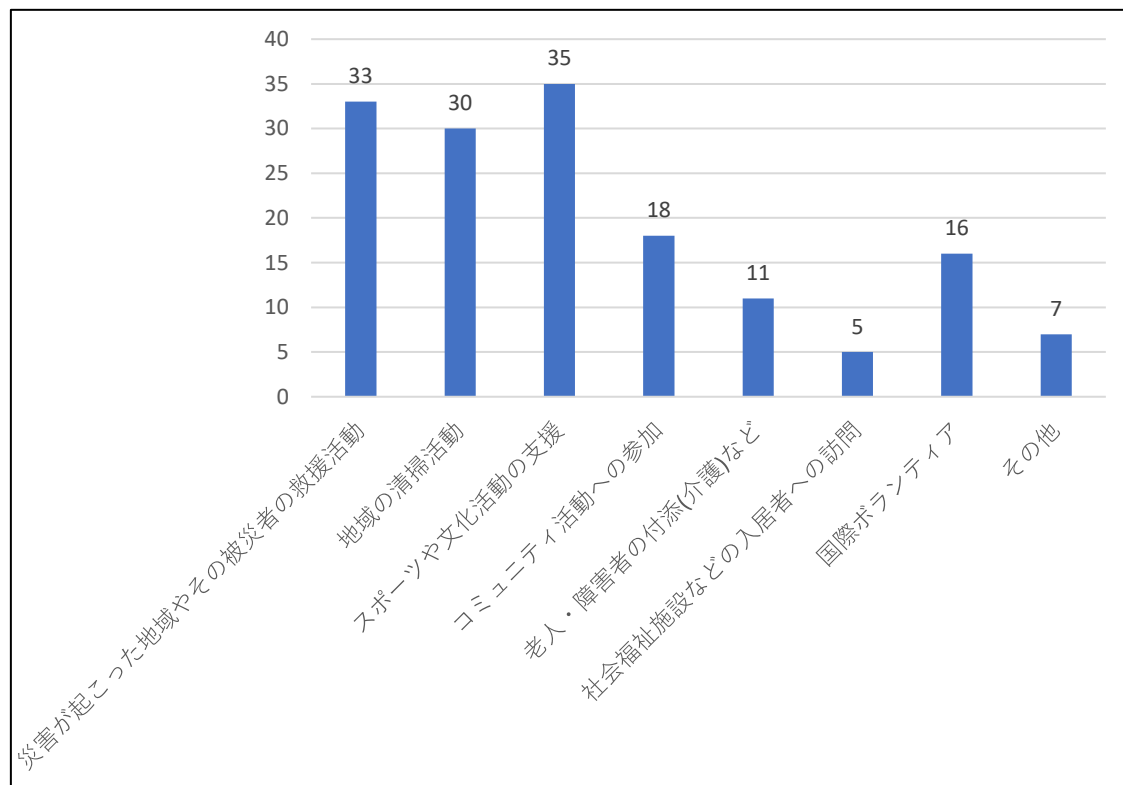
12. ボランティア活動をしたことがありますか

機会があれば 2/3 の学生はボランティア参加したいと考えていることがうかがえた。



13. どのようなボランティア活動に興味がありますか(複数回答可)

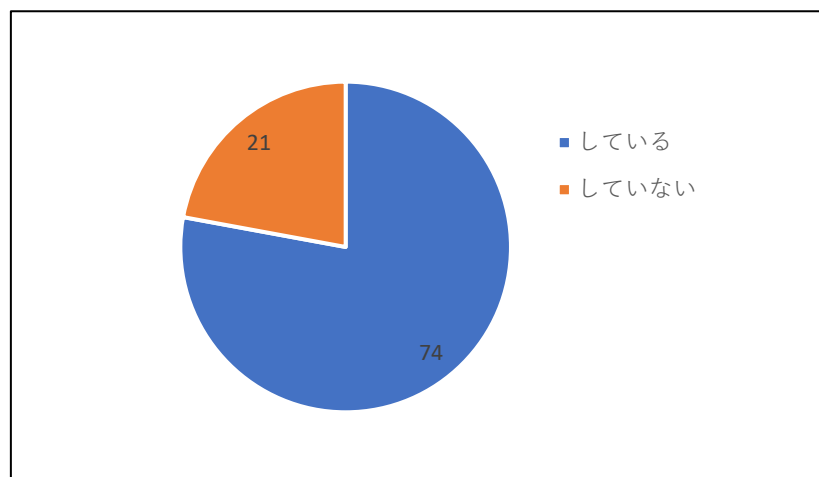
地域コミュニティのボランティア活動への興味が高い結果であり、身近な環境への興味がうかがえた。



第V章 アルバイト

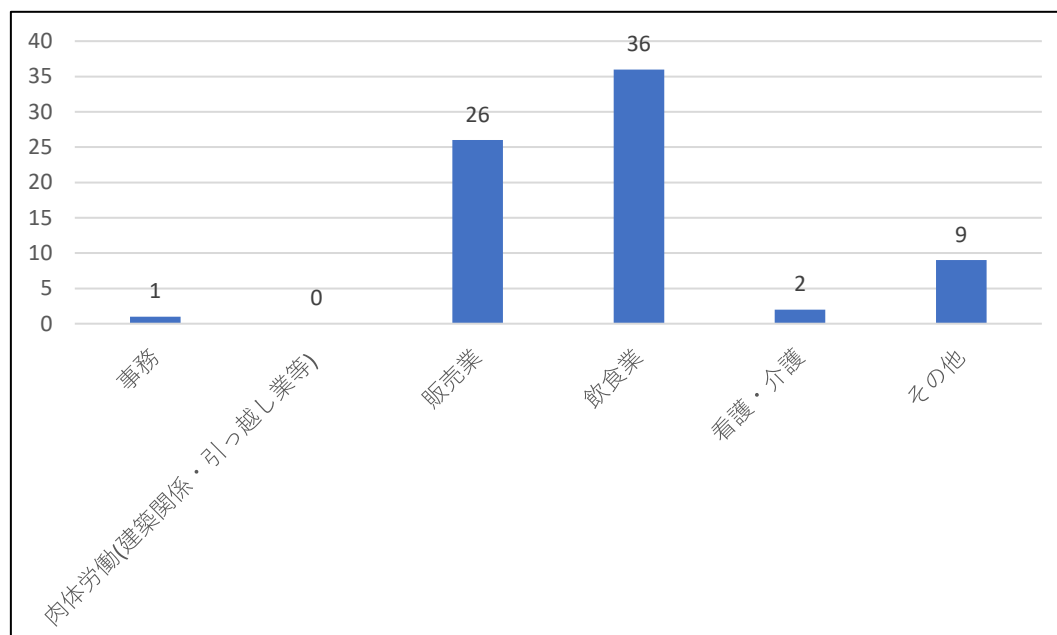
14. アルバイトはしていますか。

78%の学生がアルバイトをしている結果となった。



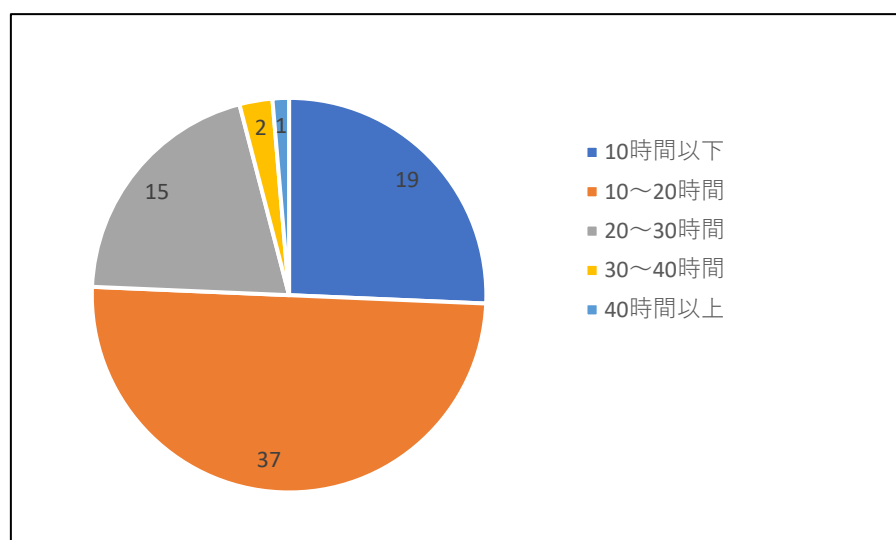
15. どのようなアルバイトをしていますか(していましたか)

アルバイトをしている学生を 100%とした場合、飲食業が 68%と最も多い結果となった。



16. アルバイトは 1 週間の平均で何時間くらいしていますか

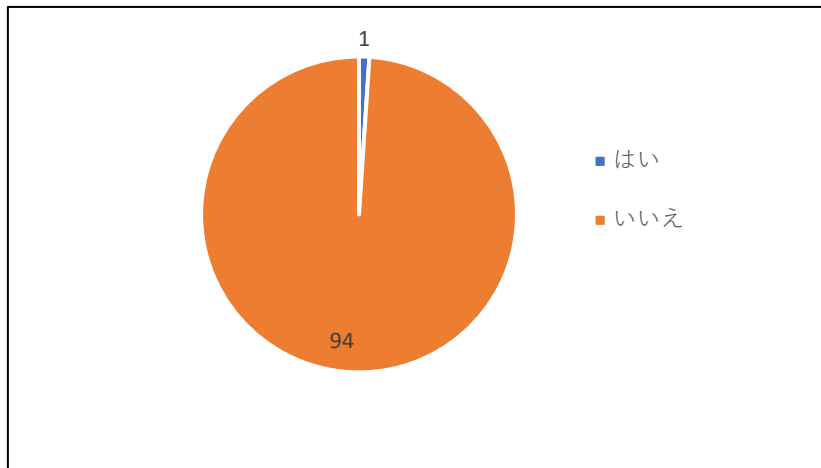
1 週間のアルバイト時間は 10～20 時間が最も多い結果となった。



第VI章 学生生活

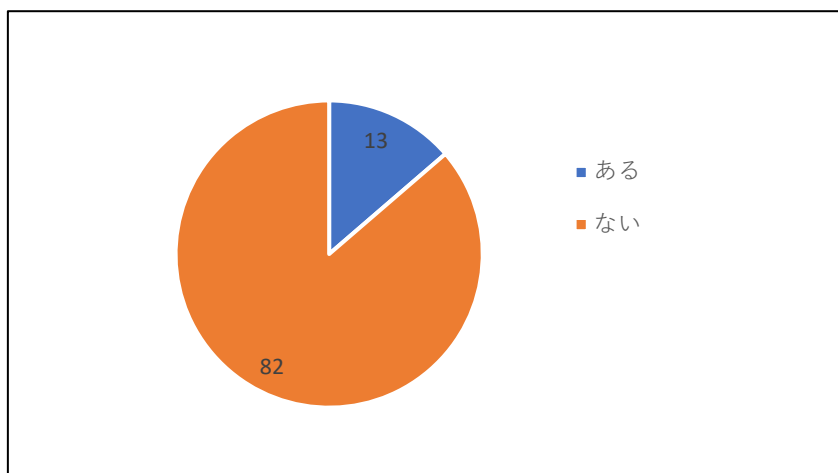
17. あなたは喫煙しますか

喫煙していない学生が全体の 99 パーセントであり、喫煙率が非常に低いことがわかった。看護・栄養など健康に関する教育を受けている学生さんが多いため、健康志向が高く、喫煙が健康に悪影響を及ぼすことが広く認識されていると考えられる。



18. 現在、何か困っていることはありますか。

困っていることがない学生が 86 パーセントを占めており、学生の多くが困難を感じていないことがわかった。しかし、残り 14 パーセントの学生が抱えている困りごとに対して内容に応じたサポートや体制の整備を行うことが必要であると考えられる。



19. 具体的に、どのような内容ですか。(記入例：学業に関する不安・人間関係等)

困りごとの内容を以下にまとめた。

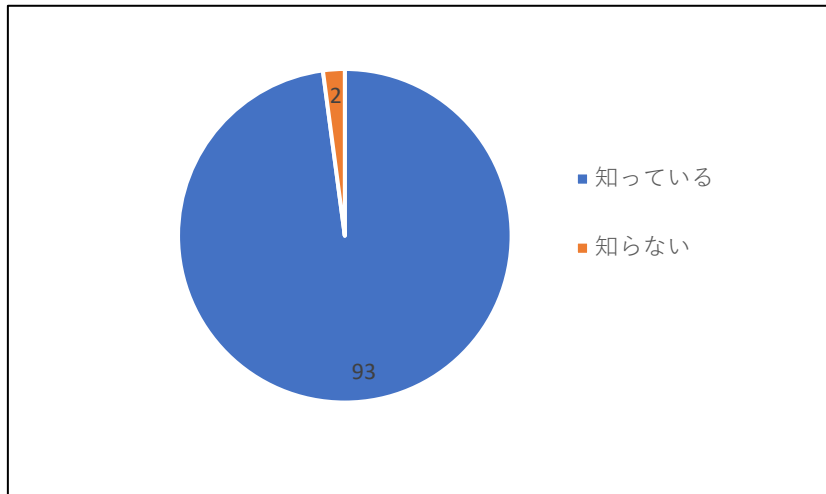
- ・4月からの就職に対する不安（アート・デザイン学科）
- ・学業（栄養学科）
- ・学業、人間関係（栄養学科）
- ・就職活動（アート・デザイン学科）
- ・進路（看護学科）
- ・将来の進路への不安（アート・デザイン学科）
- ・テスト中に先生が見ていないからといって、ChatGPT を使ってレポートを書いたり、人のレポートを参考にしたりする学生が居てとても不快。注意しても聞かないし、その学生の方がテストとかの点数が高いのが嫌です。（看護学科）
- ・人間関係（看護学科）
- ・学業に関する不安（看護学科）
- ・進学（アートデザイン学科）
- ・自身が ADHD であること（生活科学科）

上記より、学生たちの困りごとは学科ごとに異なる特性があり、看護学科・栄養学科では学業の不安や人間関係のストレスが多く見られることがわかった。特に、テストで不正行為を行う学生がいることに対する不快感や、学業における不公平感も問題として挙げられており、成績評価や指導教員に対する信頼を損なう可能性があると考えられる。アート・デザイン学科では学生が就職や進路に関する不安が多いことがわかった。学生に対する早めの進路相談やキャリア関連の授業などへの参加、進学の試験対策などのサポートを続けていく必要があると考えられる。

そのほかには、ADHDなどの学生の特性に合った学習環境の調整が求められていることが考えられる。

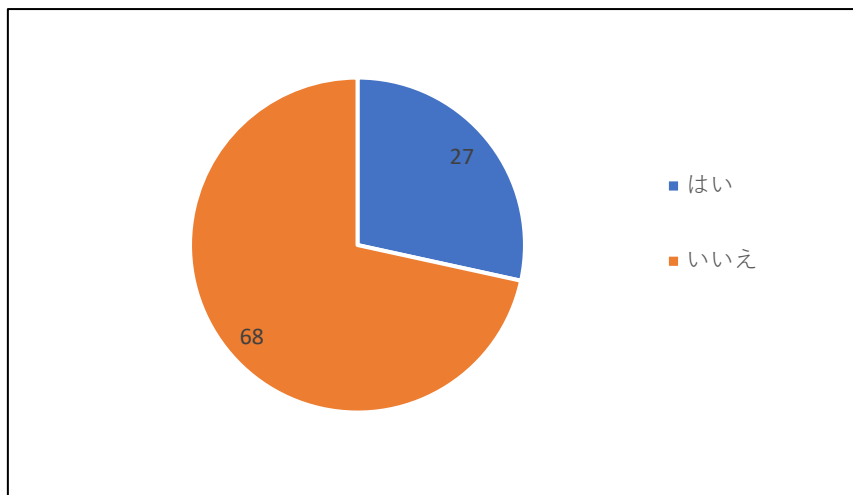
20. 保健室があることを知っていますか

98 パーセントの学生が保健室の存在を知っていることがわかった。学校内で保健室が十分に認知されていると考えられる。



21. 保健室を利用したことはありますか

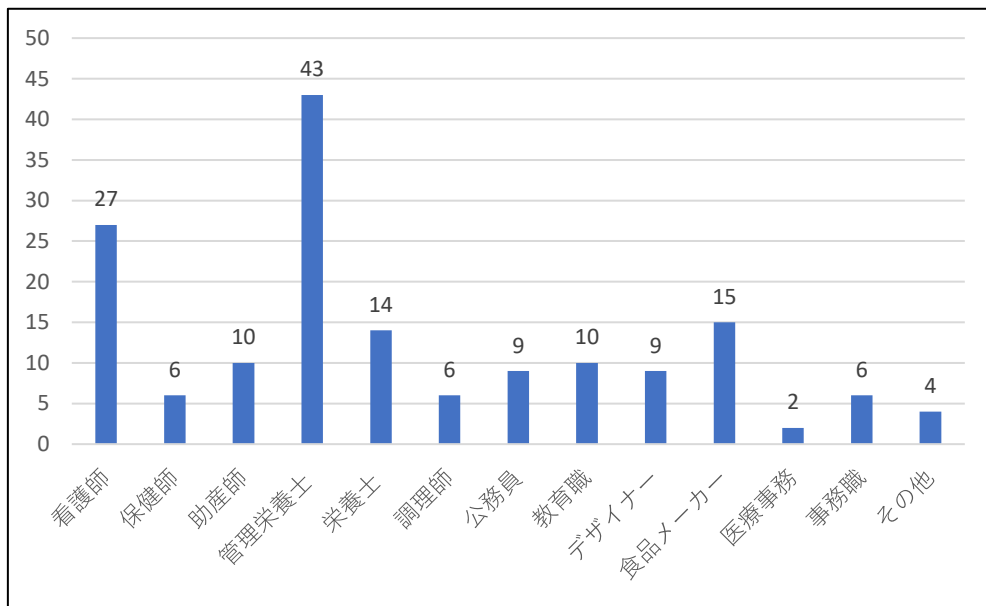
保健室の存在が広く認識されているにもかかわらず、実際の利用者は28パーセントと少ないことから、何らかの理由で利用に至っていないことがわかる。



第Ⅶ章 進路(就職・進学)

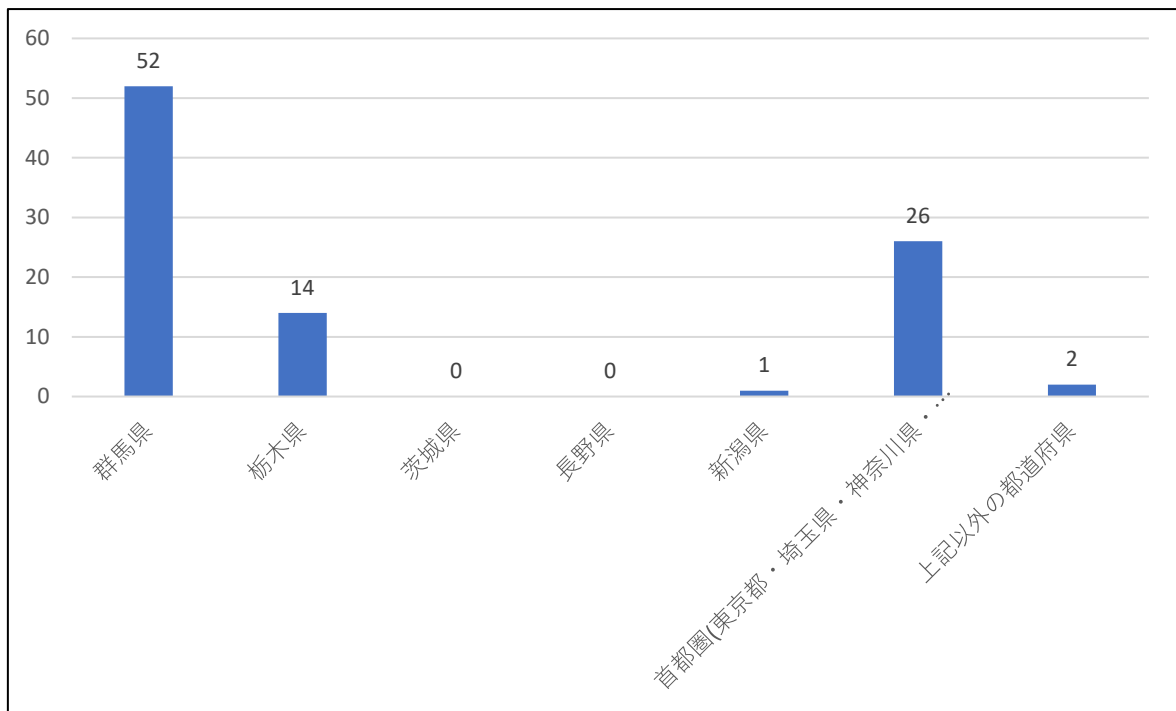
22. 卒業後、どのような職業に就きたいですか(複数回答可)

看護師、栄養士、管理栄養士、デザイナーなど、大学で培われる資格やスキルを活かせる職業が多く挙がっていた。また、教育職の回答も次いで多く見られた。



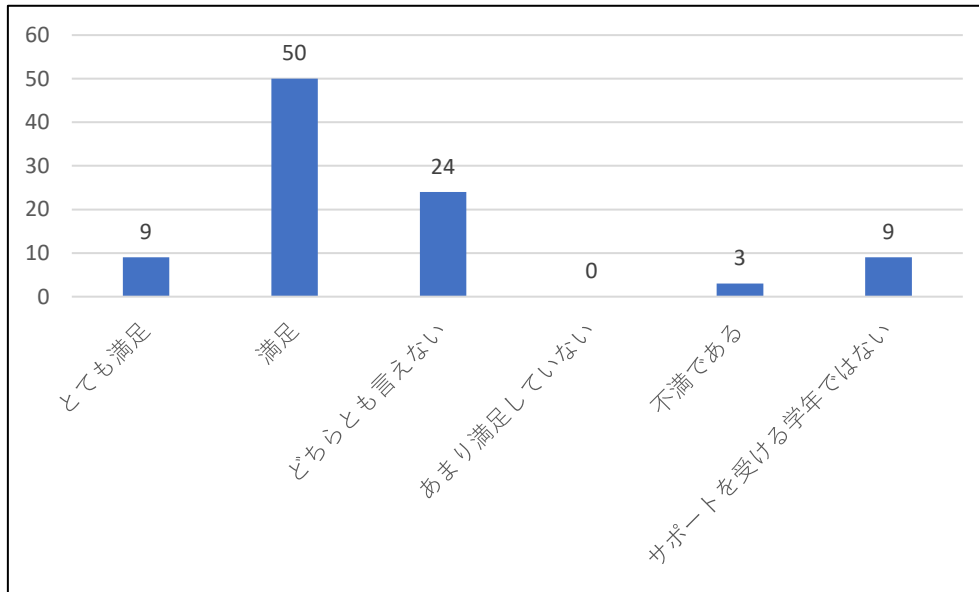
23. 就職する地域はどこを希望していますか

地元である群馬県が圧倒的に多く、また隣接する栃木県、その他首都圏にも希望が多かった。

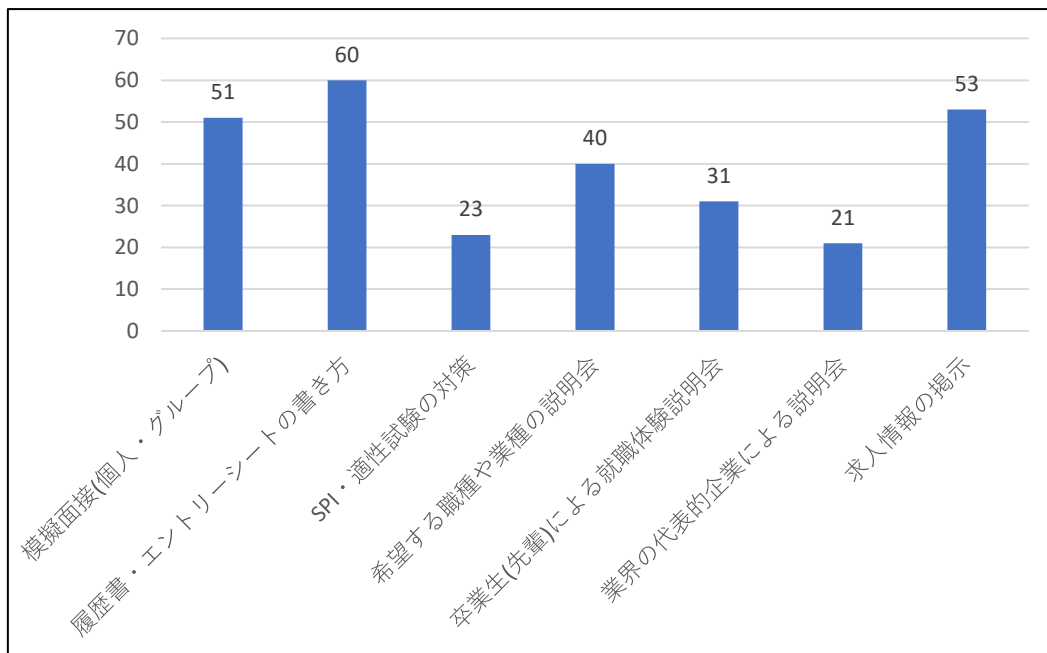


24. キャリアガイダンスの内容に満足していますか

約6割の学生はとても満足、満足と回答していた。



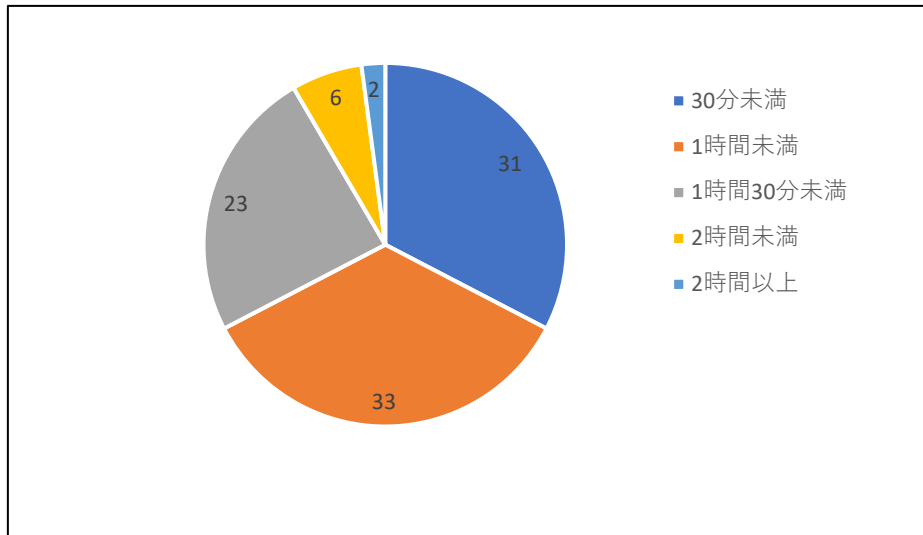
25. 就職・進学で相談にのってほしいことを選択してください。(複数回答可)
履歴書・ES の書き方、求人情報の揭示、模擬面接が順に多く回答があった。



第Ⅷ章 通学

26. 通学にかかる片道の所要時間はどれくらいですか

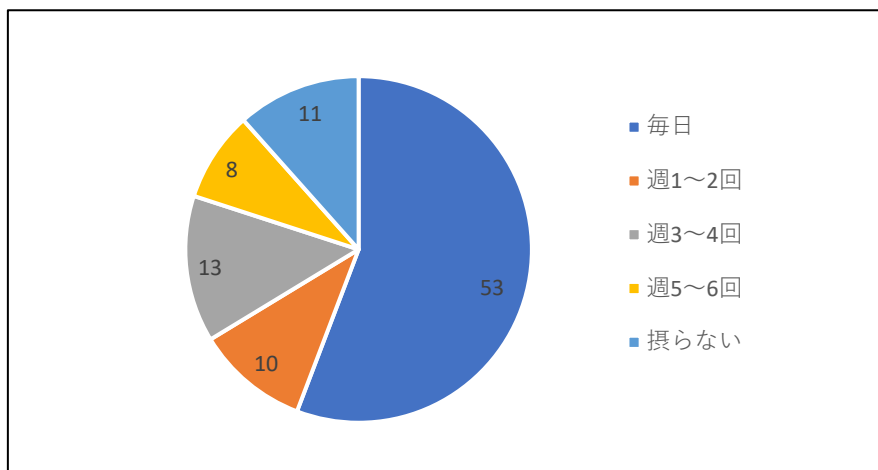
通学所要時間 1 時間半未満の学生が 9 割を占めていた。



第Ⅸ章 食生活

27. 朝食を摂っていますか

毎日摂っていると答えた学生が半数以上であったが、それ以外に当たる欠食をしている学生も多くいた。

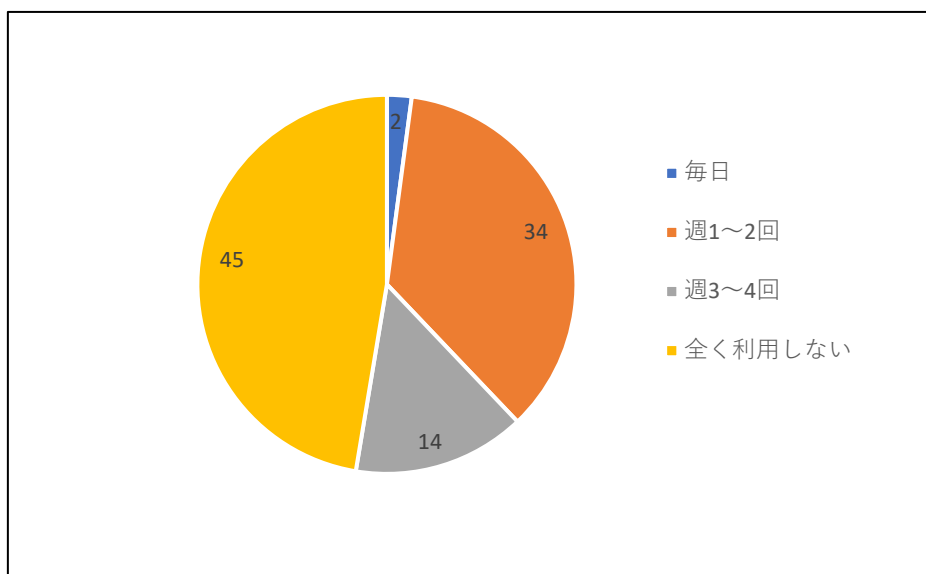


28. 朝食を摂らない理由は何ですか

「摂らない」、または欠食をしている 42 名の回答から、朝食を食べる時間が無いという内容がもっとも多く、次いで起きてから食欲が湧かないという内容が多かった。この結果から、朝食摂取について指導する必要があると示唆された。

29. エレガント(売店)を利用しますか。利用する方は、週にどのくらい利用しますか。

「全く利用しない」が最も多く、「週 1～2 回」が 2 番目に多い結果であったことから、学生サービスとして売店の利用者増加に向けた改善案、検討が必要と思われる。



第 X 章 その他

30. 桐生大学内の生活の中で、大学に対して改善してほしい点がありますか(特にない場合は特になしと記入してください)

95 名の回答のうち、その他の意見として 20 名の回答があった。

卷末資料

1. 委員会構成メンバー

学生委員会

橋爪 博幸	短期大学部生活科学科	学生委員会委員長
田中 光子	医療保健学部看護学科	学生委員会副委員長
川上 智史	医療保健学部栄養学科	学生委員会副委員長
久保田 隆子	医療保健学部看護学科	
櫻井 通恵	医療保健学部看護学科	
許斐 亜紀	医療保健学部栄養学科	
須藤 侑加子	医療保健学部栄養学科	
二宮 佑輔	医療保健学部栄養学科	
古賀 裕子	別科助産専攻	
井桁 千恵子	短期大学部生活科学科	
鹿山 未優	短期大学部生活科学科	
寺村 サチコ	短期大学部アート・デザイン学科	
野村 亜希	短期大学部アート・デザイン学科	

事務

小川 由紀子	教務・学生課学生係主任
島宮 拓也	教務・学生課学生係職員